

2021年度

教育委員会の点検・評価報告書  
(2020年度事業分)

2021年 6 月

豊岡市教育委員会

## 目 次

I	教育委員会活動等の点検・評価について	1
II	教育委員会会議及び教育委員の活動	3
	1 教育委員会の概要	
	2 教育委員会会議の開催状況	
	3 教育委員会会議以外の活動状況	
	4 教育委員活動のまとめ	
III	教育委員会施策の点検・評価	15
	・ 第4次とよおか教育プラン2020年度実践計画の検証について	
	・ 第4次とよおか教育プラン2020年度実践計画 施策・取組一覧	
	・ 第4次とよおか教育プラン2020年度実践計画 検証総括シート	
	【基本方針 1 「生きる力」を育む教育の推進】	
	基本的方向 1 「あたまの力」の育成	
	基本的方向 2 「こころの力」の育成	
	基本的方向 3 「からだの力」の育成	
	基本的方向 4 「あたま・こころ・からだの3つの力を支える 基礎力」の育成	
	基本的方向 5 特別支援教育の充実	
	【基本方針 2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立】	
	基本的方向 1 教職員の資質・能力の向上	
	基本的方向 2 学校園の組織力の強化	
	基本的方向 3 安全・安心な教育環境の整備・充実	
	基本的方向 4 家庭と地域による学校と連携した教育の推進	
IV	外部有識者の総評	53

# I 教育委員会活動等の点検・評価について

## 1 趣 旨

豊岡市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、2008年度から教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行っています。

本年度も法の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすため、2020年度の教育施策の実施状況について点検及び評価を行いました。

この点検・評価の結果を踏まえ、今後の教育行政施策の改善や見直しに努めるとともに、教育環境の整備・充実に努めてまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ■参考■

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 実施方法

豊岡市教育委員会活動の実績報告と「第4次とよおか教育プラン（2020年2月策定）」を基に策定した「2020年度実践計画（2020年3月策定）」に位置付けた施策・取組について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、市ホームページへの掲載等により公表します。

## 3 教育委員会活動等の点検・評価の方法

### (1) 教育委員会会議及び教育委員の活動

毎月定例的に開催される教育委員会会議の開催状況、審査議案、報告事項、さらに学校訪問をはじめとする教育関係施設や各種事業の視察、委員研修、大会への参加状況等を記載しています。

## (2) 教育委員会施策の点検・評価

点検・評価する事業は、第4次とよおか教育プラン2020年度実践計画に位置付けた全ての施策・取組を対象とします。

点検・評価の方法は、学校現場及び各担当課による自己検証のほか、検証委員会による外部検証を行うとともに、年度末において教育委員会による最終検証を行いました。

## (3) 外部有識者の総評

点検及び評価にあたり、点検評価の客観性を確保するとともに、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、外部評価を依頼し、教育委員会が実施した事業について、公正・的確な意見を述べていただくこととしました。

外部評価は、第4次とよおか教育プランの推進など、豊岡の教育行政に深く携わっていただいている兵庫教育大学大学院学校教育研究科准教授の安藤福光氏にお願いしました。

## Ⅱ 教育委員会会議及び 教育委員の活動

## 1 教育委員会の概要

教育委員会は、首長から独立した行政委員会として、全ての都道府県及び市町村に設置されており、教育行政における重要事項や方針を決定し、教育長が具体的な事務を執行しています。

豊岡市では、2017年5月17日に新制度による教育長の任命が行われました。豊岡市教育委員会は、教育長と4人の委員をもって組織され、地方における教育行政の中心的な担い手としてその役割を果たすことが求められています。

豊岡市教育委員会委員名簿 (2020年度)

職名	氏名	任期
教育長	嶋 公 治	2020年5月17日～2023年5月16日
委員 (教育長職務代理者)	佐 伯 和 亜	2020年5月17日～2024年5月16日 (教育長職務代理者 2019年5月17日～)
委員	向 井 美 紀	2017年5月17日～2021年5月16日
	飯 田 正 巳	2018年5月17日～2022年5月16日
	成 田 壽 郎	2019年5月17日～2023年5月16日

## 2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を、緊急的な協議議題等があれば必要に応じて「教育委員会臨時会」を開催することとしており、教育行政の基本方針や重要施策等を決定しています。

2020年度は15回の会議を開催し、人事案件や規則、予算案など合計53件の議案について審議を行うとともに、40件の報告・協議を行い、教育行政の方針等を決定しました。

- ◆教育委員会定例会 12回
- ◆教育委員会臨時会 3回 合計15回

### 【議案審議内容】

- |                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関する事   | 14件 |
| (2) 教育委員会規則の制定及び改廃に関する事           | 10件 |
| (3) 職員（教職員を含む）の人事に関する事            | 2件  |
| (4) 法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱に関する事   | 1件  |
| (5) 教育予算に関する事                     | 8件  |
| (6) 教育財産の取得・用途廃止、所管換等に関する事        | 6件  |
| (7) その他（附属機関以外の委員の委嘱、物品購入契約の締結など） | 12件 |

● 教育委員会会議開催状況

会議区分	開催日	開催場所
第1回定例会	2020年4月20日(月)	本庁舎 庁議室
第2回定例会	2020年5月18日(月)	本庁舎 第3委員会室
臨時会	2020年5月25日(月)	本庁舎 教育長室
第3回定例会	2020年6月22日(月)	本庁舎 第3委員会室
第4回定例会	2020年7月21日(火)	本庁舎 第3委員会室
第5回定例会	2020年8月18日(火)	本庁舎 第3委員会室
第6回定例会	2020年9月24日(木)	豊岡稽古堂 交流室3-1
第7回定例会	2020年10月26日(月)	本庁舎 庁議室
第8回定例会	2020年11月20日(金)	本庁舎 庁議室
第9回定例会	2020年12月24日(木)	本庁舎 庁議室
第10回定例会	2021年1月21日(木)	本庁舎 庁議室
第11回定例会	2021年2月16日(火)	本庁舎 庁議室
臨時会	2021年2月22日(月)	本庁舎 会議室6-1
臨時会	2021年3月8日(月)	本庁舎 教育長室
第12回定例会	2021年3月25日(木)	本庁舎 庁議室

● 2020年度 教育委員会会議審議案件等一覧

第1回定例会 2020年4月20日(月)	
審議案件	
議案第1号	豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について…可決
議案第2号	豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について…可決
議案第3号	とよおか教育プラン実践計画検証委員会設置要綱の一部を改正する要綱制定について…可決
報告案件	
報告第1号	寄附物件の受納について
報告第2号	豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について
報告第3号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

第2回定例会 2020年5月18日(月)

審議案件

- 議案第4号 豊岡市社会教育委員の委嘱について…可決
- 議案第5号 物件購入契約の締結に関する意見について(教育用情報機器)…承認
- 議案第6号 物件購入契約の締結に関する意見について(食缶食器洗浄機)…承認
- 議案第7号 令和2年度6月補正教育関係予算案に関する意見について…承認
- 議案第8号 豊岡市立放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定に関する意見について…承認
- 議案第9号 豊岡市立港東小学校、港西小学校の統合に関する中間報告に対する教育委員会の方針について…可決

報告案件

- 報告第4号 教育長が臨時に代理した令和2年度4月専決補正(新型コロナウイルス感染症対策分その1)に関する意見について承認を求めることについて
- 報告第5号 教育長が臨時に代理した令和2年度4月専決補正(新型コロナウイルス感染症対策分その2)に関する意見について承認を求めることについて
- 報告第6号 寄附物件の受納について

協議案件

- 教育委員会の点検・評価報告書について
- 教育委員が務める各種協議会等の委員について
- 2020年度の教育委員会活動計画について

臨時会 2020年5月25日(月)

審議案件

- 議案第10号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について…可決
- 議案第11号 豊岡市立小学校及び中学校の休業日の期間の変更について…承認
- 議案第12号 豊岡市立幼稚園の休業日の期間の変更について…承認
- 議案第13号 豊岡市立放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定に関する意見について…承認

第3回定例会 2020年6月22日(月)

審議案件

- 議案第14号 豊岡市奨学生の選考について…決定
- 議案第15号 豊岡市交通遺児奨学生の審査について…決定
- 議案第16号 令和2年度6月補正(第7号)教育関係予算案に関する意見について…承認
- 議案第17号 2020年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について…可決

報告案件

- 報告第7号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
- 報告第8号 寄附物件の受納について



報告第9号	豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について
報告第10号	豊岡市立保育所の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
報告第11号	豊岡市立認定こども園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
報告第12号	教育長が臨時に代理した令和2年度5月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて
報告第13号	令和2年6月市議会答弁概要について

第4回定例会 2020年7月21日(火)	
報告案件	
報告第14号	寄附物件の受納について
報告第15号	豊岡市立認定こども園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
報告第16号	豊岡市立放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
報告第17号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

第5回定例会 2020年8月22日(木)	
審議案件	
議案第18号	令和2年度使用教科用図書の採択について…決定
議案第19号	土地の取得に関する意見について(合橋小学校用地)…承認
議案第20号	土地の取得に関する意見について(合橋認定こども園用地)…承認
議案第21号	物件購入契約の締結に関する意見について(児童生徒用端末)…承認
議案第22号	物件購入契約の締結に関する意見について(小中学校端末充電保管庫)…承認
議案第23号	令和2年度9月補正(第10号)教育関係予算案に関する意見について…承認
議案第24号	令和2年度9月補正(第11号)教育関係予算案に関する意見について…承認
議案第25号	豊岡市立小中学校における豊岡市学校運営協議会の設置に係る委員の任命について…可決
報告案件	
報告第18号	寄附物件の受納について
報告第19号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

第6回定例会 2020年9月24日(木)	
審議案件	
議案第26号	豊岡市立中竹野小学校の統合に関する要望書に対する教育委員会の方針について…可決
報告案件	

報告第 20 号	寄附物件の受納について
報告第 21 号	令和 2 年 9 月市議会答弁概要について

第 7 回定例会 2020 年 10 月 26 日 (月)	
審議案件	
議案第 27 号	豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について…可決
報告案件	
報告第 22 号	兵庫県豊岡市立新田小学校長印の新調 (改刻・廃止) について
報告第 23 号	寄附物件の受納について
報告第 24 号	豊岡市立特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者並びに特定子ども・子育て支援施設等の確認に関する規則の一部を改正する規則の制定について
報告第 25 号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第 26 号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

第 8 回定例会 2020 年 11 月 20 日 (金)	
審議案件	
議案第 28 号	豊岡市立小学校及び中学校の設置に関する条例及び豊岡市立放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について…承認
議案第 29 号	物件購入契約の締結に関する意見について…承認
議案第 30 号	令和 2 年度 12 月補正 (第 17 号) 教育関係予算案に関する意見について…承認
議案第 31 号	損害賠償の額を定めることに関する意見について…承認
議案第 32 号	損害賠償の額を定めることに関する意見について…承認
報告案件	
報告第 27 号	専決処分したものの報告について (損害賠償の額を定めること)
報告第 28 号	専決処分したものの報告について (損害賠償の額を定めること)
報告第 29 号	寄附物件の受納について

第 9 回定例会 2020 年 12 月 24 日 (木)	
報告案件	
報告第 30 号	令和 2 年 12 月市議会答弁概要について
報告第 31 号	寄附物件の受納について
協議案件	
「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画 (案)」パブリックコメントについて	
「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画 (案)」について	

第 10 回定例会 2021 年 1 月 21 日 (木)	
審議案件	
議案第 33 号	豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則等の一部を改正する規則

制定について…可決
議案第 34 号 豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について…可決
議案第 35 号 豊岡市史跡整備委員会設置要綱の廃止について…可決
報告案件
報告第 32 号 豊岡市子育て応援特別手当支給事業実施要綱の廃止について
報告第 33 号 寄附物件の受納について
協議案件
「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画（案）」について

第 11 回定例会 2021 年 2 月 16 日（火）
審議案件
議案第 36 号 豊岡市社会教育委員に関する条例を廃止する条例制定について…承認
議案第 37 号 土地の取得に関する意見について（合橋小学校用地）…承認
議案第 38 号 土地の取得に関する意見について（合橋認定こども園用地）…承認
議案第 39 号 2021 年度教育行政の方針と施策の展開について…承認
議案第 40 号 令和 2 年度 3 月補正（第 24 号）教育関係予算案に関する意見について…承認
議案第 41 号 令和 2 年度 3 月補正（第 25 号）教育関係予算案に関する意見について…承認
議案第 42 号 令和 3 年度当初教育関係予算案に関する意見について…承認
報告案件
報告第 34 号 寄附物件の受納について
協議案件
豊岡市学校給食調理業務等民間委託に関する基本方針（案）について

臨時会 2021 年 2 月 22 日（月）
審議案件
議案第 43 号 豊岡市立竹野南小学校の統合に関する要望書に対する教育委員会の方針について…可決
議案第 44 号 豊岡市学校給食調理業務民間委託に関する基本方針の策定について…承認
議案第 45 号 豊岡市立学校教職員（管理職）の人事（内申）について…可決

臨時会 2021 年 3 月 8 日（月）
審議案件
議案第 46 号 豊岡市立学校教職員（一般）の人事（内申）について…可決

第 12 回定例会 2021 年 3 月 25 日（木）
審議案件
議案第 47 号 豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について…可決
議案第 48 号 豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について…可決
議案第 49 号 豊岡市ファミリーサポートセンター事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について…可決

議案第 50 号	豊岡市養育支援訪問支援事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について… 可決
議案第 51 号	第 4 次とよおか教育プラン 2021 年度実践計画の策定について…可決
議案第 52 号	教育財産の用途廃止について…可決
議案第 53 号	教育財産の用途廃止について…可決
報告案件	
報告第 35 号	令和 3 年 3 月市議会答弁概要について
報告第 36 号	教育長が臨時に代理した令和 3 年度第 1 号専決補正教育関係予算案に関する 意見について承認を求めることについて
報告第 37 号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第 38 号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第 39 号	豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第 40 号	寄附物件の受納について

### 3 教育委員会会議以外の活動状況

#### (1) 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、2015 年度から地方公共団体の長と教育委員会で構成する総合教育会議の設置が義務付けられました。

これを受けて、次のとおり会議を開催しました。

##### ア 第 1 回総合教育会議

- ・日 時 2020 年 5 月 18 日（月）午前 9 時 30 分から午前 10 時 30 分
- ・場 所 本庁舎 庁議室
- ・内 容 ・大綱の策定について

##### イ 第 2 回総合教育会議

- ・日 時 2020 年 11 月 11 日（水）午後 3 時から午後 4 時 30 分
- ・場 所 本庁舎 庁議室
- ・内 容 ・学校教育における ICT の活用について  
・小中学校適正規模・適正配置に係る意見交換会の結果と今後の推進について

#### (2) 教育懇談会

教育委員会では、市が進めている教育施策の内容を市民に理解していただくとともに、教育委員と市民との対話を通して市民の声を教育行政に反映することを目的として教育懇談会を開催しています。

2019 年度に「豊岡の教育の現状と課題について考える」をテーマに、市内 7 会場で教育懇談会を開催し、市の教育方針や具体的な取組み、少子化による教育の諸問題等について、市民の皆さんに伝え、併せて意見交換を行いました。意見交換では、主に保護者の方から、少子化により同級生が極端に少ないことや複式学級に対する不安の声が多くあ

げられたため、今後の小中学校のあり方について検討する「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会」を2020年2月に設置し、2021年2月に答申を受けました。

2020年度には、審議の過程として、教育懇談会を兼ね、9月から10月にかけて、審議会の中間案である①適正規模・適正配置の考え方、②再編の枠組み(案)について、保護者・地域住民との意見交換会を開催しました。

○開催日と対象地域、出席者数

【保護者向け】

日程	豊岡 9/23	出石 9/25	竹野 9/28	城崎、 港 9/30	日高 10/2	但東 10/6	合計
参加人数	46	29	41	32	46	46	240

【地域向け】

日程	豊岡 10/13	城崎、港 10/20	日高 10/23	但東 10/26	出石 10/28	竹野 10/29	合計
参加人数	39	37	55	41	32	35	239

計12回 参加者合計 479名

(3) 教育委員会会議以外の活動状況一覧

月	学校訪問・学校園行事	視察、研修会、各種委員会	その他行事等
4	教職員辞令交付式 校園長会挨拶 小学校入学式 中学校入学式 幼稚園・認定こども園入園式		
5		第1回総合教育会議	
6		豊岡市奨学生選考委員会 豊岡市小中一貫教育推進協議会 第1回但馬教科用図書採択地区協議会（朝来市）	
7		但馬教育委員連合会理事会・総会・研修会（豊岡市） 但馬地区女性教育委員の会（豊岡市）	
8		第2回但馬教育用図書採択地区協議会（朝来市） 豊岡市進学対策協議会 但馬教育塔合祀祭（但馬文教府） 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画(案)」市民説明会	
9	学校園訪問 （出石中、竹野南小、出石幼、めぐみ幼）	豊岡市進学対策協議会県教育委員会県要望（神戸市） 小中学校のあり方意見交換会 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画(案)」市民説明会	
10	学校園訪問 （豊岡小、小坂小、日高東中、資母認定）	文化と教育の先端自治体連合「第2回オンライン大会」 豊岡市民生委員推薦会 小中学校のあり方意見交換会	
11	学校園訪問 （三江小、弘道小、五荘小、清滝小、資母小、日高小、豊岡南中）	教育委員協議会（総合教育会議研修） 第2回総合教育会議	出石町青少年健全育成推進大会（出石多目的ホール）
12			「出石永楽館狂言鑑賞教室」参観
1			
2		豊岡市小中一貫教育推進協議会 教育委員協議会（とよおか教育プラン）	
3	中学校卒業式 幼稚園・認定こども園卒園式 小学校卒業式 港東小学校・港西小学校閉校式 奈佐小学校閉校式		

#### 4 教育委員活動のまとめ

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が約2カ月臨時休業になるなど今まで経験したことのない状況となりました。しかし、コロナ禍においても、教育委員会では、本市の教育理念『ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成～非認知能力（やり抜く力・協働性・自制心）を子どもたちに～』を示した第4次とよおか教育プランに基づき、“常に子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育”を基本姿勢とした教育施策を展開し、毎年度定める実践計画に掲げる施策の取組を推進しました。

教育行政の効果的な推進に当たっては、市民や保護者の教育に対する理解と協力が必要不可欠であると考えています。そのため、市民に身近で開かれた教育委員会となるよう、移動教育委員会会議の代替として、各地域で小中学校のあり方意見交換会を実施したほか、教育委員会会議の開催日や審議結果などを公表するとともに、市の教育情報を掲載した「豊岡きょういく」を年3回発行し、教育情報の発信に努めました。

また、教育委員会会議での方針決定に保護者や教育現場の意見を反映させるため、学校園訪問、教育研修会等へ参加し、学校、家庭、地域の現状把握を行い、連携した教育活動の充実を図りました。

教育委員会では、小中学校のあり方を検討する必要があると判断し、2020年2月に設置した「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会」に諮問し、延べ7回に渡る審議を経て、審議会から2021年2月に答申を受けました。

審議にあたっては、「子どもたちにとってより良い教育環境とするには、学校はどうあるべきか」を第一に検討いただき、また、2020年9月から10月にかけて計12回実施した「小中学校のあり方意見交換会」で寄せられた地域の皆さんの意見についても十分考慮した答申とされています。今後、7月に答申についての説明会を、10月頃には計画案についての説明会を開催する予定としており、2021年中には「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」を策定したいと考えております。

また、地域からの要望により、港東小学校と港西小学校を統合することとして、また奈佐小学校を五荘小学校へ統合することとして、いずれも統合準備委員会を設置し、地区の関係者とともに調整・協議を重ね、2021年4月に開校式、統合式を開催しました。

9年間の系統性と一貫性のあるカリキュラムを実践するため、小中一貫教育「豊岡こうのとりプラン」を全中学校区で実施しています。中心となる取組である「ローカル&グローバル学習の時間」で「ふるさと教育」、「英語教育」、「コミュニケーション教育」を実践しています。第2期となる2020年度からは、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け「授業でつながる小中一貫教育」をテーマに取り組んでいます。

また、非認知能力の向上をめざし、引き続き、小学校低学年による演劇ワークショップ（豊岡市非認知能力向上対策事業）をモデル校において実施しました。2年間の取組を踏まえ、2021年度も演劇ワークショップを実施し、プログラムの開発と評価方法について検証を進めていきます。

就学前の保育・教育活動については、引き続き、市内の保育園、幼稚園、認定こども園の4・5歳児クラスを対象に英語遊び指導員を定期的に派遣する「英語遊び保育」を実施しました。子どもたちは、簡単な動作を表す言葉にも自然に反応し、いきいきとした表情で英語遊びに参加する姿が見られました。今後も就学前の子どもたちだからこそ楽しめる活動を通して、英語や異文化への興味を育むとともに、さまざまな体験活動を通して、人と積極的にかかわろうとする気持ちを育てていきたいと考えております。

教育環境の整備については、安心な教育環境を確保するため、小中学校の屋内運動場等における非構造部材の落下防止対策工事を進め、2019年度中に全ての中学校の整備を終え、2020年度からは小学校の工事に着手しております。2022年度には計画している13校について、整備を完了する予定としております。

教育環境の向上を図るため、2018年度から小学校・幼稚園等の普通教室・保育室への空調整備工事に着手し、2019年度末には、すべての小中学校の普通教室に空調設備の整備が完了し、2020年夏から全学校園で稼働しています。新型コロナウイルス感染症対策として整備を進めている、小中学校33校の理科室、音楽室、被服室等の空調設備については、2021年夏までに整備を完了する予定としております。

また、国の方針を受け、1人1台の学習用端末を整備し、小中学校の校内通信ネットワークの高速大容量化等、ICTを活用した豊かな学びを提供するための環境整備を図ります。

本市教育委員会では、2020年6月に「豊岡市学校における働き方改革」推進方針を改定し、勤務時間の適正化と学校教育の質の向上を図る取組を進めています。取組のひとつとして、市内の全公立小・中学校における統合型校務支援システムの積極的な活用を推進するなど取組を進めております。引き続き、業務の効率化を図り、学校現場における働き方の見直しに向けた意識改革、業務改善をより一層推進します。

すべての関係者が「働き方改革」の理念を共有し、それぞれの取組を実行することが求められています。

また、学校運営に地域の声を積極的に生かし、学校と地域が一体となり特色ある学校づくりを進める学校運営協議会制度「コミュニティスクール」を、モデル校2校を対象として実施しました。2021年度には、学校運営に地域の声を積極的に生かし、校区の実情を踏まえた検討を進めていきたいと考えております。

学校を取り巻く環境は変わってきており、地域の声に耳を傾ける機会も多く、教育委員の役割はますます重要なものであると認識しています。

豊岡市教育委員会では、“常に子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育”を合言葉に、学校園・家庭・地域・行政がそれぞれの役割を理解し連携し、一体となって基本理念の共有と実践活動に邁進していきます。



### Ⅲ 教育委員会施策の 点検・評価

（第4次とよおか教育プラン  
2020年度実践計画  
検証総括シート）

## 第4次とよおか教育プラン 2020年度実践計画の検証について

### 1 実施方法

2020年度実践計画に定められている指標について、学校現場及び担当課による自己検証のほか、検証委員会による外部検証を行うとともに、年度末において教育委員会による最終検証を行った。

### 2 検証結果の示し方

検証結果は、2つの基本方針で定められた9つの基本的方向ごとに「検証総括シート」を作成し、各々で設定された指標及び施策・取組の検証、外部検証意見を取りまとめた。

また、外部検証結果及び次年度実践計画策定作業を踏まえ、年度末における最終検証を取りまとめた。

### 3 表記・記号の説明

#### (1) 指標項目について

##### ア 「■」印の指標項目

全国学力・学習状況調査（毎年4月20日頃実施・8月下旬結果公表）の結果の数値を使用。従って、実施年度の数値は前年度の取組が反映すると捉えられるが、実施年度の結果を目標値に対応させて評価することとする。

※2020年度全国学力・学習状況調査が中止であったため、同様の指標項目を市独自調査で得た数値結果を使用。

##### イ 「□」印の指標項目

全国学力・学習状況調査以外の全国調査や各担当課による独自調査、取組による結果の数値を使用。

#### (2) 指標数値について

##### ア 2019現状値

・原則は2019年度の実績値を表記するが、取組によっては前年度の実績値を表記する。この場合においては、当該年度を〔 〕で表記する。

##### イ 2020目標値

・2020年度に到達すべき目標値を設定する。

ウ 2020指標の実現状況

- ・原則は2020年度の実績値を表記するが、取組によっては前年度の実績値を表記するものがある。この場合は[ ]内に当該年度を表記する。
- ・2020指標の実現状況のうち、( )内は2020目標差を、「○」印は2019現状値よりも改善した指標を表す。

(3) 教育委員会（担当課）及び検証委員会による検証結果の評価記号

教育委員会（担当課）検証（中間・年度末）		検証委員検証	
S	目標達成・取組完了（目標達成、事業計画完了による取組終了）	○	妥当
A	継続実施（拡充・現行方法による継続実施）	△	疑義あり
B	改善実施（取組の改善・見直しによる継続実施）	—	評価不能
C	抜本の見直し（取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要）	※担当した検証委員3名の検証を記載する。	
D	未取組廃止（効果・必要性等から取組を廃止）		

## 第4次とよおか教育プラン 2020年度実践計画 施策・取組一覧

基本方針1 「生きる力」を育む教育の推進		担当課
基本的方向1 「あたまの力」の育成		・・・P. 22
施策① 学力の向上		
1	1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進及び全国学力・学習状況調査の結果に基づいた分析と対応	こども教育課
2	2 読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざした読書活動の推進 <関連>	
3	3 きめ細かな指導の充実を図るための指導補助教員の配置	
施策② 小中一貫教育を核とした連携教育		
4	1 ふるさと教育の推進	こども教育課
5	2 英語教育の推進	
6	3 コミュニケーション教育の推進	
7	4 系統性の一貫性のある寄り添い方で実践する学習指導と生活指導の充実	
8	5 ローカル&グローバル学習の時間の充実に係る研究の推進	
9	6 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた小学校区を基本単位とした「園小接続」の推進	
10	7 小規模校の教育課題に対応するための「小小連携教育」の推進	こども教育課
基本的方向2 「こころの力」の育成		・・・P. 25
施策① 体系的・系統的なキャリア教育		
11	1 多様な体験活動の実施によるキャリア形成への支援	こども教育課
12	2 子どもの野生復帰大作戦の展開	生涯学習課
施策② 子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動		
13	1 児童会・生徒会活動、リーダー研修会等の充実	こども教育課
14	2 福祉体験活動やボランティア活動など社会体験の機会の充実	
15	3 非認知能力向上のための取組の推進	
16	4 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催	生涯学習課
施策③ 「対話」により考えを深める道徳教育		
17	1 体験的・実践的な活動を通じた道徳性の育成	こども教育課
施策④ 生命の尊厳を基盤とした人権教育		
18	1 今日的な人権課題に対応した人権教育の充実	こども教育課
19	2 人権尊重を基盤とした社会をめざす教育の推進と家庭・地域・関係機関との連携の推進	
施策⑤ 過去の災害の教訓を踏まえた防災教育		
20	1 過去の災害を踏まえた防災・減災授業の実施	こども教育課
施策⑥ 読書活動の充実		
21	1 読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざした読書活動の推進 <関連>	こども教育課
22	2 団体貸出の推進 <新>	生涯学習課
23	3 おはなし会等の充実 <新>	
24	4 読書に関する情報の提供 <新>	
基本的方向3 「からだの力」の育成		・・・P. 30
施策① 体力・運動能力の向上		
25	1 「豊岡市版小学校体育準備運動」の共通実践と体育授業の充実	こども教育課
施策② 望ましい食習慣の形成を図る食育		
26	1 食に関する指導の充実と「食育の日」、「弁当の日」の推進	こども教育課
施策③ 健康課題や危機に適切に対応する健康教育・安全教育		
27	1 規則正しい生活習慣の確立	こども教育課
28	2 安全に対する意識の高揚	

基本的方向4 「あたま・こころ・からだの3つの力を支える基礎力」の育成

・・・P. 33

施策① 健康な体づくり		
29	1 幼児期における運動遊びの推進	こども育成課
30	2 食育の推進	
施策② 基本的な生活習慣の確立		
31	1 「生活リズム」及び「基本的な生活習慣」の定着とその推進	こども育成課
32	2 道徳性・規範意識の育成	
施策③ 様々な体験活動を通じた好奇心や探究心の育成		
33	1 環境を通して行う教育・保育の充実 <新>	こども育成課
34	2 人と関わる力の育成	
35	3 様々な体験活動の積み重ね	
36	4 英語遊び保育の推進	
37	5 自然との関わりの充実	
施策④ 人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成		
38	1 絵本の読み聞かせの推進	こども育成課
39	2 感じたことや考えたことを表現する力の育成	
40	3 話す力・聞く力の定着	

基本的方向5 特別支援教育の充実

・・・P. 36

施策① 発達特性の理解と早期からの一貫した支援		
41	1 豊岡市こども支援センターの機能の充実	こども教育課
42	2 スーパーバイザー支援事業の実施	
43	3 教職員の専門性向上をめざした実践的研修の推進	
44	4 卒業後までを見通した教育的支援・指導の引継ぎの推進	
45	5 特別支援教育支援員の効果的な活用	
46	6 すくすく訪問支援事業の実施	こども育成課
47	7 就学前から就学後も継続した相談支援の充実	
施策② 共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習		
48	1 市内特別支援学級の交流の実施	こども教育課

基本方針2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

基本的方向1 教職員の資質・能力の向上		・・・P. 40
施策① 教職員の資質と実践的指導力の向上		
49	1 授業づくりと学級づくりの一体化の質的向上	こども教育課
50	2 教員の指導力の向上を図る校内研修等の推進	
51	3 校内研修担当者研修の充実	
52	4 教職員の研修ニーズに対応する研修の充実	
53	5 初任者等、若手教職員の研修の充実	
54	6 豊岡市中学校教育研究会・教科部会の充実	
55	7 児童生徒及び教職員のICT活用能力の向上	
56	8 就学前の教育・保育計画「第2次スタンダード・カリキュラム」や「すくすくプログラム—5つの育てたい力—」を基本にした就学前教育の充実	こども育成課
施策② ワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方改革		
57	1 「学校における働き方改革」の推進	こども教育課
基本的方向2 学校園の組織力の強化		・・・P. 44
施策① 教育職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かす協働体制の確立		
58	1 管理職研修の充実	こども教育課
59	2 学校教育経営研修の充実	
施策② いじめや不登校等への対応		
60	1 いじめの未然防止、早期発見・早期対応の充実	こども教育課
61	2 小・中学校と関係機関との生徒指導に係る情報交換の推進	
62	3 不登校対策の充実	
63	4 相談支援事業の実施	
64	5 「子どもの心を理解する強化月間」の充実	
65	6 「アセス」を活用した生徒指導の充実	
基本的方向3 安全・安心な教育環境の整備・充実		・・・P. 47
施策① 学校園及び給食センターの安全対策やICT環境等の教育環境の整備・充実		
66	1 学校園施設等の定期的な安全点検及び整備	教育総務課
67	2 非構造部材等落下防止対策の推進 <拡>	
68	3 ICT環境の整備	
69	4 地産地消の推進と安全・安心な学校給食の提供	こども教育課
70	5 通学(園)路の安全点検及び関係機関・保護者・地域との連携強化	
71	6 通学(園)手段の確保	
施策② 様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する就学支援		
72	1 就学援助費の支給	こども教育課
73	2 特別支援教育就学奨励費の支給	
基本的方向4 家庭と地域による学校と連携した教育の推進		・・・P. 50
施策① 家庭における子どもが伸びる習慣づくり		
74	1 「すくすくメッセージ」や紙芝居「めらとにんじゃのしゅぎょう」を活用した乳幼児期の生活リズムの定着	こども育成課
75	2 「運動遊びパンフレット」等による家庭や地域での運動遊び・外遊びの促進	こども教育課
76	3 家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立	
77	4 ブックスタートの推進	生涯学習課
施策② 親としての学びへの支援		
78	1 PTA活動の充実	こども教育課
79	2 子育て家庭を対象とした子育て講座の実施	こども育成課
80	3 親子が交流できる機会の充実	
施策③ 関係機関の連携による子育て支援		
81	1 子育てに関する相談の充実	こども育成課
82	2 学校園と家庭児童相談室・こども家庭センターなどの関係機関との連携	
施策④ 地域全体で子どもを育てる環境づくり		
83	1 安全ボランティアによる見守り活動の継続及び活動支援	こども教育課
84	2 学校・家庭・地域の連携強化	
85	3 「地域とともにある学校」づくりの推進 <新>	
86	4 仕事と子育ての両立支援	こども育成課
87	5 子どもと心でつながる市民運動の推進	生涯学習課
88	6 図書ボランティア活動の促進 <新>	



## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針1	「生きる力」を育む教育の推進
基本的方向1	「あたまの力」の育成
	子どもたちが、自立して活動していくためには、十分な知識・技能、これらを基盤として自ら解を導く思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学びに向かう力・人間性等を身に付けることが重要である。 このため、①学力の向上、②小中一貫教育を核とした連携教育等に取り組む。

### 〔指標の検証〕

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
■ 「全国学力・学習状況調査」における正答率40%以下の児童生徒の割合	小国 22.4% 小算 13.5% 中国 11.8% 中数 20.3%	小国 12.5%以下 小算 8.5%以下 中国 9.2%以下 中数 2019現状値以下	小国 —(—)— 小算 —(—)— 中国 —(—)— 中数 —(—)—
■ 国語、算数、数学の勉強が好きだと思っている児童生徒の割合	小国 61.3% 小算 70.3% 中国 53.6% 中数 56.6%	小国 69.2% 小算 73.6% 中国 66.7% 中数 62.9%	小国 63.3%(−5.9P)○ 小算 71.3%(−2.3P)○ 中国 57.1%(−9.6P)○ 中算 57.5%(−5.4P)○
■ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童生徒の割合	小 86.4% 中 76.3%	小 2019現状値以上 中 79.8%	小 85.8%(−0.6P) 中 78.4%(−1.4P)○
■ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合	小 83.6% 中 78.8%	小 2019現状値以上 中 2019現状値以上	小 84.9%(+1.3P)○ 中 85.6%(+6.8P)○
■ 家庭など学校での授業以外で平日に学習時間が30分以上の児童生徒の割合(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	小 94.7% 中 88.9%	小 95.2% 中 92.0%	小 92.7%(−2.5P) 中 92.6%(+0.6P)○
■ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合	小 63.9% 中 39.5%	小 2019現状値以上 中 44.4%	小 61.6%(−2.3P) 中 51.4%(+7.0P)○

- ・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。
- ・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

#### ※ 全国学力・学習状況調査【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。



教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策① 学力の向上	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進及び全国学力・学習状況調査の結果に基づいた分析と対応	〇〇〇	A	こども教育課
2 読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざした読書活動の推進	〇〇〇	A	
3 きめ細かな指導の充実を図るための指導補助教員の配置	〇〇〇	A	
<p>(施策における取組の総括:担当課検証)</p> <p>令和2年度全国学力・学習状況調査の質問紙で、「国語が好き」「算数・数学が好き」は前年度よりもポイントがアップした。また、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合」は小中学校いづれも伸びてきている。</p> <p>今後も、全国学力・学習状況調査の分析を重ね、豊岡市学力向上検討委員会による授業改善の提案や、5つの『徹底・継続』実践事項を基盤にした授業づくりを進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を継続していく。</p>			

施策② 小中一貫教育を核とした連携教育	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 ふるさと教育の推進	〇〇〇	A	こども教育課
2 英語教育の推進	〇〇〇	A	
3 コミュニケーション教育の推進	〇〇〇	A	
4 系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する学習指導と生活指導の充実	〇〇〇	A	
5 ローカル&グローバル学習の時間の充実に係る研究の推進	〇〇〇	A	
6 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた小学校区を基本単位とした「園小接続」の推進	〇〇〇	A	こども教育課・こども育成課
7 小規模校の教育課題に対応するための「小小連携教育」の推進	〇〇〇	A	こども教育課
<p>(施策における取組の総括:担当課検証)</p> <p>豊岡こうのとりのプランは、第2期に入り、「授業でつながる小中一貫教育」を掲げて実践を進めている。「子どもにとってどうなのか」という視点ではふるさと教育、英語教育、コミュニケーション教育それぞれで、高い水準で推移してきている。このことは、それぞれのカリキュラムが確実に、そして各校の特色を加えながら実践されていることの証しである。</p> <p>今後、「授業でつながる」という視点をさらに意識し、ふるさと教育、英語教育、コミュニケーション教育相互に、また各教科や領域の指導と関連付けた指導により、なお一層子どもの学びが豊かになり、子どもの実感としてさらに手応えを感じる取組の実践に期待したい。</p>			

〔外部検証意見〕

〔教育委員会検証〕

施策①-2

読書の習慣は、幼児期からの「読み聞かせ」も大切だと感じる。それには保護者に興味を持ってもらう必要がある。身近にあって、すぐ手に取れるような環境作りは重要だろう。大人が本が好きであったり、「読み聞かせ」の大切さを認識していたら、家庭でも定着するだろう。

すぐ手に取れるという点で、学校においては大いに図書館の団体貸出を利用すべきだと考える。授業で扱った本や関連本が、図書室に行くまでもなく、団体貸出により教室にあれば、本に関する興味・関心が深まるのではないかと思う。団体貸出を利用している学校では、子どもが「よく本を読むようになった。」と効果も聞く。全体としては、利用している学校は少ないらしい。

また、図書館が作成した「テーマ別ブックリスト」は、本の表紙も載っているのので、分かりやすくコンパクトなので使いやすい。

施策①-3

支援を要する児童生徒は年々増加傾向にあり、生徒が落ち着いて学校生活や学習に取り組めるようにさらに指導補助員の配置拡大を希望する。

施策②

学校再編で竹野や但東は、小中一貫校が現実となってきた。今後、保護者に「豊岡こうのとりのプラン」の説明などの機会を持ってほしい。

義務教育の質保障の観点からも、特に拡充による継続実施を期待している。

施策②-2

「English Summer Camp」は参加した生徒が、今まで以上に英語に自信と興味を持ち学校生活を送ることにつながった。英語でコミュニケーション能力を育むうえでも継続をお願いしたい。

ご意見のとおり、子どもの身近なところに本があることは大事だと認識しています。臨時休業中も、各校で貸し出しを行いました。休業明けにも、図書館で本の貸出が利用できるため、子どもたちの手元に本のあるよい環境をつくることのお願いを各学校を通じて行いました。1人1台端末が整備されるが、子どもたちの身近なところに本がある、活字がある環境はしっかり守ります。

指導補助教員の大幅な増員は難しい状況です。今後も引き続き、指導補助教員、特別支援教育支援において、特別な支援が必要な子どもに対する対応について、資質向上につながる研修を実施していきます。

こうのとりのプランについては、要望があれば学校と連携を取りながら丁寧に説明していきます。合わせて、今年度以降はふるさと教育、コミュニケーション教育、英語教育でそれぞれにつながりを持たせて、また授業の中で関連させながら進めていきます。

「English Summer Camp」ではうれしい声をたくさん聞いており、来年度も継続して実施していきます。

〔基本的方向における総括・教育委員会検証〕

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、5つの「徹底・継続」実践事項を基盤とする授業改善に取り組んでいる。比較・分類・関連付けの視点を明確にした話し合いや対話を取り入れた授業や、めあてと振り返りの連動を図り、何ができるようになったか、どのように学んだかを振り返る授業づくりを目指している。

小中一貫教育では「授業でつながる一貫教育」を掲げ、他教科や領域との関連や連動を図る取組が始まっている。

## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

### 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針 1	「生きる力」を育む教育の推進
基本的方向 2	「こころの力」の育成
	<p>子どもたちが、人間ならではの感性を働かせて、より豊かに活動していくためには、発達段階に応じた体験的な活動を通じて、子どもたちの豊かな情操や道徳心を培うことが重要である。</p> <p>このため、①体系的・系統的なキャリア教育<sup>7)</sup>、②子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動、③「対話」により考えを深める道徳教育、④生命の尊厳を基盤にした人権教育、⑤過去の災害の教訓を踏まえた防災教育、⑥読書活動の充実等に取り組む。</p> <p>なお、読書活動は、教育プランに基づく方策を新たな「子どもの読書活動推進計画」に位置付け、総合的かつ体系的に取り組を進めていく。</p>

#### [指標の検証]

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
■ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小 85.3% 中 66.8%	小 88.8% 中 75.5%	小 81.0%(-7.8P) 中 70.3%(-5.2P)○
■ 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小 86.8% 中 73.8%	小 2019現状値以上 中 79.1%	小 82.0%(-4.8P) 中 72.4%(-6.7P)
■ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあると思う児童生徒の割合	小 95.8% 中 93.2%	小 100% 中 98.9%	小 93.7%(-6.3P) 中 92.5%(-6.4P)
■ 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある児童生徒の割合	小 86.7% 中 84.5%	小 89.1% 中 87.8%	小 94.3%(+5.2P)○ 中 86.5%(-1.3P)○
■ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上読書をする児童生徒の割合(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)	小 38.0% 中 21.9%	小 44.8% 中 32.0%	小 36.0%(-8.8P) 中 26.7%(-5.3P)○
□ 図書の団体貸出を利用した学校園の数	園 10園 小 26校 中 1校	園 16園 小 29校 中 4校	園 10園(-6園) 小 24校(-5校) 中 2校(-2校)○
□ 図書館が行うおはなし会等の実施学校園数	園 5園 小 3校 中 1校	園 12園 小 8校 中 3校	園 3園(-9園) 小 1校(-7校) 中 0校(-3校)

■… 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□… 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了(目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施(拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施(取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し(取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止(効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ① 体系的・系統的なキャリア教育	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 多様な体験活動の実施によるキャリア形成への支援	〇〇〇	A	こども教育課
2 子どもの野生復帰大作戦の展開	〇〇〇	B	生涯学習課
(施策における取組の総括:担当課検証) 「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、2019年度現状値と比べ、中学校では高くなっている。小学校においては、減少しているものの高水準で推移している。体験活動等をはじめとする日々の教育活動の中で、キャリア教育の視点が浸透してきている一つの成果と考えられる。今後、さらに成果と課題の分析、計画の検証・見直しを進め、取組の質の向上を各校に求めていく。 子どもの野生復帰大作戦は、今年度(2020年度)まで約6,000人の参加があり、内容的にも一定の効果があつた。今後は「挑戦する心を育む施設」としてリニューアルオープンする植村直己冒険館が提供する体験プログラムを通じて、施策を展開する。			

施策 ② 子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 児童会・生徒会活動、リーダー研修会等の充実	〇〇〇	A	こども教育課
2 福祉体験活動やボランティア活動など社会体験の機会の充実	〇〇〇	A	
3 非認知能力向上のための取組の推進	〇〇〇	A	
4 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催	〇〇〇	B	生涯学習課
(施策における取組の総括:担当課検証) 質問紙の結果では「自分にはよいところがある」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と思う児童生徒の割合は、高い水準で推移している。自分の人生や社会を切り拓く力となる「非認知能力」の向上を図る取組を推進するため、非認知能力向上事業の目的や内容、モデル校での実践の様子等について、検証結果と合わせてさらに広報・周知することが必要である。 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭は、例年通り学校訪問コンサート等の開催はできなかったが、未就学児でも参加できるコンサートを数回開催し、179人の高校生以下の子どもたちに音楽を届けることができた。来年度は学校と連携を図りながら、学校訪問コンサートを開催していく。			

施策 ③ 「対話」により考えを深める道徳教育	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 体験的・実践的な活動を通じた道徳性の育成	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課検証) 道徳教育は、学校の教育活動全体で各教科や行事等と関連を図りながら、組織的・計画的に取り組むことが重要である。子どもたちが自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を考えられるよう、問題解決的な学習等を取り入れ、「考え、議論する道徳」の授業づくりの充実を図る。「特別の教科・道徳」の授業公開に努め、家庭や地域と連携した道徳教育をさらに推進する。			

施策 ④ 生命の尊厳を基盤にした人権教育	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 今日的な人権課題に対応した人権教育の充実	〇〇〇	A	こども教育課
2 人権尊重を基盤とした社会をめざす教育の推進と家庭・地域・関係機関との連携の推進	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課検証) 「ほほえみ」「きらめき」等を年間指導計画に位置付け、計画的に指導を進めたり、人権教育関係資料等を活用し校内研修を実施したりし、組織的に人権教育の充実を図っている。また、情報モラルについての学習を進めるなど、今日的な人権課題に対応した教育も推進している。 今後も家庭、地域、関係機関とより緊密に連携し、指導の改善と工夫を図りながら、人権教育の充実に向けた取組を進めていく。			

施策⑤ 過去の災害の教訓を踏まえた防災教育	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 過去の災害を踏まえた防災・減災授業の実施	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課検証) 年間3回のメモリアルデーに関連した取組を中心に、すべての学校園で計画的な防災教育を実施している。 今後も家庭、地域、関係機関等との連携強化に努め、課題意識を共有しながら取組を継続することにより、防災教育・防災体制の一層の充実を図っていく。			

施策⑥ 読書活動の充実	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざした読書活動の推進	〇〇〇	A	こども教育課
2 団体貸出の推進	〇〇〇	A	
3 おはなし会等の充実	〇〇〇	A	生涯学習課
4 読書に関する情報の提供	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課検証) 新型コロナの影響により、学校園に出向き、直接子どもに接する機会は減少したが、団体貸出やブックリスト等の資料や情報提供により、読書の幅を広げるよう取り組むことができた。			

〔外部検証意見〕

〔教育委員会検証〕

施策①-1

ふるさと学習は、本市では豊岡市小中一貫教育「豊岡こうのとりの里」の中に位置付けられ、義務教育9年間で体系的・系統的に教育過程が組まれている。また、体験活動のため、現地移動予算や講師等の人材も確保できていて、ありがたい。

自然学校は生きる力を育むことにつながるので、継続実施を望む。

施策①-2

今の子どもたちは安全性等の問題から、日常の遊びにおいて自然の中で遊ぶ経験ができにくくなっており、このような事業の存在は大変有益であると考えます。

リニューアルオープンする植村直己冒険館の提供する体験プログラムに期待したい。

施策②-1

リーダー研修に参加した中学校生徒会の役員たちにとっては、貴重な体験となり、その後の生徒会活動推進のエネルギーになると思うので、今後も継続推進していく。また、今後もコロナ禍が続く学校生活の中で、子どもたちの自主・自立を育てる児童会・生徒会活動は大きな役割を担うと考えるので、この事業の継続を要望する。

施策②-2

小学校では総合的な学習の時間のテーマに社会福祉学習を行っている学校がほとんどである。その授業の講師として市職員に来ていただき、大変感謝している。今後もこの取組の継続をお願いする。

福祉体験は介護する者の配慮すべき事、介護される者の気持ちを理解することができる。関係者の協力を得て継続実施を望む。

施策②-3

昨年度に引き続き、モデル校での取組が各校へ還元されることを期待する。

施策②-4

本年度はコロナ禍で学校でのコンサートの開催はできなかったが、但馬の地では体験しにくい「本物」に出会う貴重な取組であるので、今後も継続を要望する。

施策③-1

道徳が教科となり、道徳の授業においても新学習指導要領の方向性である「主体的な学び」(問題解決的な学習)、「対話的な学び」(議論)、「深い学び」(疑似体験)の授業改善が求められている。従ってこの取組の方向性は適切であり、今後もその推進を要望する。

また、毎年、各校オープンスクールや授業参観日で道徳の授業公開を行っている学校は多く、定着度は高い。

施策④-1

特に小学校で年々スマホ等の所持率が高くなり、インターネットによる人権侵害やいじめ事案を未然に防止するため、道徳授業や総合学習の情報モラル授業、講師招聘による授業及びPTA教育講演会を実施している学校が多い。市をあげて、この取組を行う意義は大変大きいので、継続推進を要望する。

市としても今までの効果を考え、継続していきます。

自然学校は子どもたちにとって貴重な体験です。昨年は実施日数を減らし実施しました。来年度は宿泊がきっちりできるか、バスの移動がきっちりできるかなどを考え、より子どもたちが安全に実施できるよう取り組んでいきます。来年度自然学校は5日間実施できるよう検討しています。

運営会社から火燾(おこし)体験や竹野海岸での企画案が届いており、市としても期待しています。

リーダー性を養い、意見を交流し各校の活動に還元するため、取組の継続と充実を図ります。

福祉体験などの活動は相手を思いやることや自分の生き方、あり方を考える機会となるため、今後も取組を継続していきます。

来年度までの3年間、モデル校として三江小と資母小で実施します。研修会も開催を予定しています。

2021年度も例年通り開催する予定です。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の状況により内容を変更することがあります。

今後も学校に積極的に道徳科の授業を公開するよう呼び掛けるなど、家庭や地域の道徳科に対する理解を得られるよう努めます。

インターネットによる人権侵害等について、道徳教育での指導とともに関係機関と連携した取組を行い、情報モラルの向上に努めています。今後も人権教育の充実を図ります。

施策④-2

人権教育は、道徳授業を柱に、学校の全教育活動の中で、各学年の年間指導計画の中に位置付けられている。その内容も体験的・実践的な取組が多く、講師招聘で関係機関にお世話になっている。

また、PTA主催で人権に関する講演会を行う学校もあり、その対象を保護者のみならず、地域住民も対象にしている学校もある。従って、この事業の意義は大きいので、継続を要望する。

施策⑤-1

台風の大型化や地震の多発など、防災・減災の重要性が増している今、学校ではそれらの授業の大切さを認識し、メモリアルデーの各日に積極的に集会や授業を行っている。特に「台風23号に係る防災教育資料」「水害に関わる防災授業資料」は有用であった。

施策⑥-1

コロナ禍で家庭の生活リズムが乱れる中、子どもたちの家庭生活をよりよくするための1つの施策として有効である。これからの学力に必要なのは読み取りの力、表現力が大事であるため、この市の施策には賛同している。

読書活動の習慣化は、読解力向上、ゲームやSNS時間の減少等、今課題となっている事柄にも通じるものがあるので、学校でもこの取組を推進していきたい。また、読書の質の向上のため、園・小学校において、改訂された「豊岡市推薦図書一覧」(中学校は来年度)は本年度から様々なジャンル別により本が紹介されている形式に変わったのでよかった。

施策⑥-2

これまでこの団体貸出は、多くの学校で各図書館司書の方々のご協力により実施されており、国語授業に大いに支援していただいている。

施策⑥-3

多くの学校では、ボランティアに朝の読み聞かせをしていただいているが、その他にこのおはなし会が学校でも実施できれば、子どもたちに読書の楽しさを感じることができる、よい機会となる。

施策⑥-4

これまで多くの情報を学校に提供していただき、活用させていただいている。

今後も家庭や地域、関係機関との連携を図りながら、すべての人と肯定的に関わる態度の育成を目指します。

引き続き資料を活用し、体験型の授業を充実させることで、「自分の命は自分で守る力」を育てます。

朝読書等の読書指導で読書の習慣化を図るとともに、「豊岡市推薦図書一覧」等を活用し、今後も子どもたちが様々なジャンルの本や文章に触れる機会を設け、読書の質の向上を図ります。

施策⑥-2~4共通

第4次とよおか教育プランは、子どもの読書活動推進計画として位置付けています。子どもの読書を推進するため、団体貸出などの取組を展開・継続します。

〔基本的方向における総括:教育委員会検証〕

様々な体験を通して、子どもたちに豊かな心を育てていくことは、子どもたちの非認知能力に働き掛け、生きる力となっていく。目的を明確にした体験活動や協働的な学び、他教科との関連を図った教科横断的な学習等、子どもたちが自分の良さや有用感などを自覚できる授業づくりが重要である。

今後も様々な取組をつなぐ「非認知能力(やり抜く力・自制心・協働性)」についてさらに研究を進めていく。

## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針 1	「生きる力」を育む教育の推進
基本的方向 3	「からだの力」の育成
	子どもたちが、活力を持って創造的に活動していくためには、スポーツを楽しむ継続して運動できる資質・能力の育成を図るとともに、健康で安全な生活を送るための基盤となる心身の調和の取れた発達を図ることが重要である。 このため、①体力・運動能力の向上、②望ましい食習慣の形成を図る食育、③健康課題や危機に適切に対応する健康教育・安全教育等に取り組む。

### 〔指標の検証〕

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 新体力テストにおける小学校5年生と中学校2年生の体力合計点のT得点	小5男 50.8 小5女 52.6 中2男 50.6 中2女 50.2 (全国平均T得点50)	2019現状値以上	小5男 -( )- 小5女 -( )- 中2男 -( )- 中2女 -( )-
<input type="checkbox"/> 体育の授業は楽しいと思う児童生徒の割合	小 95.7% 中 90.8%	小 2019現状値以上 中 2019現状値以上	小 -( )- 中 -( )-
<input checked="" type="checkbox"/> 朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小 88.2% 中 86.7%	小 91.7% 中 87.3%	小 86.4%(-5.3P) 中 83.8%(-3.5P)

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。



教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策① 体力・運動能力の向上	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 「豊岡市版小学校体育準備運動」の共通実践と体育授業の充実	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課検証) 幼児期から系統的な指導を継続することは、子どもたちの体力や基礎的な運動能力の向上につながる。各小学校において、「豊岡市版小学校体育準備運動」や「運動と学習をセットにした豊岡モデル」を継続実施している。「からだの力」の育成の柱として定着と充実を図るため、成果と課題を分析・検証し、今後も確実に実践を積み重ねていくことが必要である。			

施策② 望ましい食習慣の形成を図る食育	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 食に関する指導の充実と「食育の日」、「弁当の日」の推進	〇〇〇	A	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課検証) 栄養教諭や給食センターと連携し、望ましい食習慣・栄養バランス等についての食育指導、地域食材の収穫体験活動を行っている。また、「豊岡市食育実践事例集」等の活用や、毎月19日の「食育の日」や「弁当の日」の推進、食育だよりの発行等を通して、家庭と連携した食に関する指導を行っている。引き続き、学校園の教育活動全体を通して取組を推進し、食に関する教育の充実を図っていく。			

施策③ 健康課題や危機に適切に対応する健康教育・安全教育	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 規則正しい生活習慣の確立	〇〇〇	A	こども教育課
2 安全に対する意識の高揚	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課検証) 学校園だよりの発行や専門機関から講師を招いての研修会の開催等を通して、児童生徒や保護者に規則正しい生活習慣の大切さを呼び掛けている。また、心身の健康課題の解決に向けて、保健指導等を通して、発達段階に応じた知識を身に付け、適切に対応できるよう努めている。引き続き、専門機関等と連携しながら、家庭やPTAとも協力し、健康教育の充実を図っていく。			

〔外部検証意見〕

〔教育委員会検証〕

基本的方向全般

前年度までは取組の成果が感じられる好結果が出ていたが、今年度は実施や実態把握が困難な状況にある。実態把握ができた朝食についての数値からは、臨時休校による児童・生徒の生活への影響が推測される。この分野は、心身を支える土台であるので、推移を見守りながら生活習慣全般への指導を継続する必要がある。

コロナ禍でできることを取り組んでいただいた。すべての項目において効果があったとの担当課の自己評価であり、引き続き、取組に期待する。命や心を守る、からだづくりと食への関心が増すことを願っている。

施策①-1

幼児期からの運動遊びによって育まれた力を活かしながら、今後もより良い実践をめざしてほしい。

施策②-1

幼児・児童・生徒の課題に即して、給食センターやこども育成課栄養士、養護教諭等が担任と連携した指導に努めている。今後も継続してほしい。

施策③-1

眠育を中心とした生活習慣への啓発が少しずつ効果を上げていると感じる。今後も着実に実践してほしい。

施策③-2

新型コロナウイルス感染症対策において、市長部局、教育委員会、学校園の緊密な連携と組織的対応や、各学校園の地道な努力や指導への工夫が、子どもたち及び保護者の安心を支え、また子どもたちの感染予防に対する意識や行動において成果を上げていると感じる。今後も継続してほしい。

身体面、健康面についてご意見をいただきました。コロナで混乱した1年でしたが、学校の先生たちと連携を取りながら進めることができました。子どもたちが学校で自分の命、健康、食に関することを学べるのが大事だと考えています。各校の取組を応援できるよう連携を取りながら取組を進めていきます。

これまでの取組を継続しながら、取組の質的向上を図っていきます。

今後も連携協力し、食に関する指導の充実を図ります。

引き続きPTAや保護者と連携し、規則正しい生活習慣の確立に努めます。

継続的に交通安全・防犯教室等を実施し、取組を推進していきます。

〔基本的方向における総括:教育委員会検証〕

子どもたちが自分の心身の状態に関心を持ち、自ら改善したり、維持したりする力が極めて重要である。コロナ禍において、心身の健康保持など多くの学びを経験した1年である。今後も、自らの心身の健康づくりの主人公となるよう、発達段階に応じて指導を継続していく。

## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針 1	「生きる力」を育む教育の推進
基本的方向 4	「あたま・こころ・からだの3つの力を支える基礎力」の育成
	子どもたちが、乳幼児期において、生活や遊びといった直接的・具体的な体験を通して、人間としてよりよく生きるための基礎を培うとともに、心身共に健やかに成長する土台となる基本的な生活習慣等を育成することが重要である。 このため、①健康な体づくり、②基本的な生活習慣の確立、③様々な体験活動を通じた好奇心や探究心の育成、④人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成等に取り組む。

### 〔指標の検証〕

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 体を動かして遊ぶことが好きな園児の割合	98.6%	2019現状値以上	98.9% (+0.3P)○
<input type="checkbox"/> 友だちと遊ぶことが好きな園児の割合	99.6%	2019現状値以上	99.4% (-0.2P)
<input type="checkbox"/> 午後9時までに就寝する園児の割合	36.5%	67%	40.3% (-26.7P)○
<input type="checkbox"/> 毎日朝食を食べている園児の割合	94.2%	2019現状値以上	96.1% (+1.9P)○
<input type="checkbox"/> 毎週1回以上、家庭で絵本の読み聞かせをしている家庭の割合	66.7%	75%	65.4% (-9.6P)
<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園・認定こども園に行くことが楽しいと思っている園児の割合	99.1%	2019現状値以上	99.3% (+0.2P)○
<input type="checkbox"/> 「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」のお礼が言える園児の割合	91.7%	2019現状値以上	92.5% (+0.8P)○
<input type="checkbox"/> 家で遊んだ後に、おもちゃなどの片付けができる園児の割合	67.4%	2019現状値以上	66.9% (-0.5P)

■・・・ 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・ 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査 【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策① 健康な体づくり	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 幼児期における運動遊びの推進	〇〇〇	A	こども育成課
2 食育の推進	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課検証)  
 コロナ禍でも、乳幼児期における心身の健全な発達を考えると、園生活において保育者や園児同士の接触は避けられないものの、可能な限り感染リスク等を低減させ、安全で安心できる環境づくりに努めなければならない。  
 園では、このことに配慮しつつ、友達と一緒に体を動かして遊んだり、楽しく給食や弁当を食べたりする機会や時間の創出に努めてきた。そして、こうした環境を保障していくことの大切さをあらためて実感し、子どもたちの健やかな育ちの礎としての重要性を再確認できた。

施策② 基本的な生活習慣の確立	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 「生活リズム」及び「基本的な生活習慣」の定着とその推進	〇〇〇	A	こども育成課
2 道徳性・規範意識の育成	〇〇△	B	

(施策における取組の総括:担当課検証)  
 基本的な生活習慣の自立に向け、各園での日々の取組とあわせて、養護教諭や栄養士による巡回訪問を行い、園児や保護者への意識付けや啓発をしている。また、実態に応じて、支援の必要な家庭に対して、個別に対応している。  
 また、コロナ禍において、園生活の中でも子どもなりにできる感染症対策を行うとともに、折に触れ正しい知識や差別・偏見の防止について子どもと一緒に考える機会を持つことができた。今後も引き続き、取り組んでいきたい。

施策③ 様々な体験活動を通じた好奇心や探究心の育成	検証		担当課
	検証委員会	教育委員会	
1 環境を通して行う教育・保育の充実	〇〇〇	A	こども育成課
2 人と関わる力の育成	〇〇〇	A	
3 様々な体験活動の積み重ね	〇〇〇	A	
4 英語遊び保育の推進	〇〇〇	A	
5 自然との関わりの充実	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課検証)  
 新型コロナウイルス感染症の影響で制限のある中、工夫して取り組むことができた。行事等いろいろなことを精選する中で、子どもたちが自己選択し遊び込むことができ、保育者も子ども理解を深めることができた。このことは、体験活動の積み重ねだけでなく、子ども自らが友だちと折り合いをつけるなど人と関わる力の育成にもつながっていった。  
 今後も子どもの姿から学び、環境を構成していきたい。また、英語遊びについても施策の一手段として推進していくとともに、保護者への周知にも努めていく。

施策④ 人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 絵本の読み聞かせの推進	〇〇〇	A	こども育成課
2 感じたことや考えたことを表現する力の育成	〇〇〇	A	
3 話す力・聞く力の定着	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課検証)  
 人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力を育む機会を作ったり、保育者が子どもなりの表現や表現しようとする意欲等を受け止めたり、表現しやすいように言葉を掛けたりするなど子ども理解に取り組んできた。  
 今後も様々な機会を作り、継続して子ども理解を深め、自己発揮する力を育てていく。また、絵本の読み聞かせについて、園では継続して取り組んでいるが、より絵本が身近なものになるよう環境を再構成したり、保護者への啓発を工夫したりし推進していきたい。

〔外部検証意見〕

基本的方向全般

施策①～④において、子どもたちが成長する過程で、非常に意義がある取組であるため、今後も継続が必要だと感じる。

施策①-1

コロナ禍での友達同士や保育者との接触については、各園で感染症リスクを低減させる工夫をしながら、環境作りに努められたと思う。また、運動遊びの指導員の定期的な訪問指導に刺激を受けながら、園で今後も自然に体を動かす遊びや活動を更に充実させていきたいと考える。

定期的な指導員の訪問指導は、子どもたちも非常に楽しみにして、喜んでいるので今後も継続していただきたい。

施策②

今年度はコロナにより、今までとは違った生活となったが、子どもたちはその生活に柔軟に対応していると思う。園の先生たちの負担が増えていると思うが、引き続き園でも家庭でも対策を継続していくことが重要である。

施策②-2

園では、0～5歳児までそれぞれの年齢でできる感染症対策を行う中で、特に就学前の5歳児に関しては、正しい知識や差別・偏見の防止について、紙芝居等を通して考える機会を持つことができたのではないかなと思う。

施策③

例年当たり前のように行っていた活動や行事を見直す中で、子どもたちが自由に遊び込める時間が増えたことを感じる。子どもたちの実際の姿(事実)を見取ることで、保育者の関わり方にも変化がみられたように感じる。行事・活動に向かったの保育・教育ではなく、子どもたちの姿を大切にしながら進めることが大切だと思う。

子どもたちにとって、「体験」は非常に大切だと実感しているので、今後も様々な体験活動が行われてほしい。

施策③-4

今後、英語は必要になってくる言語である。年齢が上がるにつれ、外国人と話すことが恥ずかしいという気持ちが大きくなる傾向にあると思うので、小さい年齢のうちから、英語や外国の先生と多く触れ合う機会が大切であると思う。

施策④

園では絵本の読み聞かせに力を入れていただいております。子どもたちは非常に楽しんでいると思う。様々なメディアがあふれている家庭でも、親子で絵本を楽しむ機会が増えていくことも重要であると思う。

施策④-1

絵本の読み聞かせに関しては、取組2「感じたことや考えたことを表現する力の育成」、取組3「話す力・聞く力の定着」にもつながっていくと感じている。園での取組だけではなく、家庭での効果も大きいと感じるため、今後も更なる啓発を図っていききたいと思う。さらなる取組の充実に期待する。

〔教育委員会検証〕

人間としてよりよく生きるための基礎を培う乳幼児期の大切な取組みとして再確認するとともに、継続し、さらに充実を図っていきます。

乳幼児期における心身の健全な発達を考えると、友達や保育者との接触は避けられません。このことを踏まえ、引き続き、適切な感染症対策を行いながら、巡回訪問と各園の体を動かす機会の充実に努めます。

養護教諭と栄養士による保健、食育指導の一層の充実を図るとともに、保護者への啓発に努めます。

コロナ禍において、引き続き、折に触れ子どもと一緒に考えたり、保育者自身がモデルとなりながら、道徳性の芽生えや規範意識の芽生えを培っていきます。

子どもの姿(事実)を読み取ることで、より子どもに寄り添った関わりや、一人一人の発達に応じた関わりができるように、研修などをおして、保育者の資質の向上を図っていきます。また、教育保育は環境をおして行うことが大切であり、体験活動も含め環境の構成にも努めます。

英語の習得を目的とはしていません。英語を使った楽しい遊びをたくさん経験することで、外国語に興味をもったり、人と積極的にコミュニケーションをとろうとする気持ちの素地を育みたいと考えています。

園では日々の読み聞かせに取り組んでいます。また、家庭への絵本の貸し出しも行い、親子で絵本を楽しむ時間をもっていただけるような取組にも力を入れています。

このような取組が一層広がるよう引き続き努めていきます。

〔基本的方向における総括・教育委員会検証〕

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、工夫して取り組むことができた。保育全体を見直す機会となり、あらためて「子どもにとって」を考えながら、施策の①～④の大切さと、人間としてよりよく生きるための基礎を培うこの時期の子ども理解と関わり大切さを共通理解することができた。

来年度も様々な研修を捉え、子ども理解を深め、取組の充実を図っていく。

## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針 1	「生きる力」を育む教育の推進
基本的方向 5	特別支援教育の充実
	一人一人の子どもたちが、特性や発達の段階に応じて能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加するために必要な力を育成することが重要である。 このため、①発達特性の理解と早期からの一貫した支援、②共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習等に取り組む。

### 〔指標の検証〕

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
<input checked="" type="checkbox"/> 学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合	小 87.2% 中 82.9%	小 90.8% 中 86.9%	小 91.7%(+0.9P)○ 中 82.3%(-4.6P)
<input type="checkbox"/> 豊岡市こども支援センターへの支援依頼に対して支援を行った子どもの割合	[2018]100%	100%	[2019]100%(±0P)
<input type="checkbox"/> 通常学級(通級指導除く)で個別の指導計画を作成した児童生徒の割合 <small>※校内委員会で作成が必要である児童生徒数を内数とする</small>	[2018]94.5%	100%	[2019]100%(±0P)○
<input type="checkbox"/> 通常学級(通級指導除く)で個別の教育支援計画を作成した児童生徒の割合 <small>※校内委員会で作成が必要である児童生徒数を内数とする</small>	[2018]74.8%	100%	[2019]93%(-7.0P)○

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査 【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課) 検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ① 発達特性の理解と早期からの一貫した支援	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 豊岡市こども支援センターの機能の充実	〇〇〇	A	こども教育課
2 スーパーバイザー支援事業の実施	〇〇〇	A	
3 教職員の専門性向上をめざした実践的研修の推進	〇〇〇	A	
4 卒業後までを見通した教育的支援・指導の引継ぎの推進	〇〇〇	A	
5 特別支援教育支援員の効果的な活用	〇〇〇	A	
6 すくすく訪問支援事業の実施	〇〇〇	A	こども育成課
7 就学前から就学後も継続した相談支援の充実	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課検証)

豊岡市こども支援センターの臨床心理士等が、児童生徒の発達課題等に配慮した支援の手立て等を助言するなどし学校園と連携するとともに、スーパーバイザーからの指導を仰ぎ、担当者の資質向上に努めている。また、特別支援教育コーディネーター等すべての教職員の専門性の向上をめざし、特別支援教育に関する研修を通して、教職員の専門性の向上を図っている。

施策 ② 共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 市内特別支援学級の交流の実施	〇〇〇	A	こども教育課

(施策における取組の総括:担当課検証)

特別支援学級在籍児童生徒の自立をめざし、交流及び共同学習や他校との交流会のねらいを明確にし、計画的、組織的に取り組んでいる。

## 基本的方向全般

支援が要らない子は一人もいない中で、その中でもより丁寧な関わりが必要な子が年々低年齢時期から増加していることを感じる。すくすく訪問支援事業等において、臨床心理士などの訪問を受け、個々の特性や課題に応じた関わり方や手立てを教えてもらいながら進めることにより、園の遊びや生活すべてにおいて子どもたちの発達に大きく変化がみられることを感じる。

今後も連携を取り職員の資質向上をめざすことが大事だと考えるため、すべての取組でさらなる推進を要望する。

## 施策①-1

特別な支援を要する児童の指導へ適切な支援や助言をいただいている。また、虐待や家庭問題等の事案等についても連携し、問題解決に当たっている。年々、こども支援センターの果たす役割が大きくなっていると感じる。益々の推進を要望する。

## 施策①-2

スーパーバイザーによる指導助言を受けた学校は、その後の授業づくり・学級づくりに成果を残すことができている。また、スーパーバイザー参加の研修会も大変勉強になるとの感想が多い。今後もこの事業の推進を要望する。

## 施策①-3

近年、学校における特別支援教育は学校運営の中心になるものとなっている。そのため、教員の専門性を高める市主催の数回の研修会は、大変よい学びの場となっている。

## 施策①-4

本市では、継続的で切れ目のない横の連携が確実にできている。今後も細心の注意を払いながら、推進されることを要望する。

## 施策①-5

特別な支援を要する児童への支援に当たる特別支援教育支援員の存在は学校現場で大きく、子どもたちに寄り沿う支援を行っている。昨年度の意見にもあったが、一人でも多くの配置を要望する。

## 施策①-6

小学校入学後に保護者に特別支援学級への入級等を助言する場合、保護者の心情等の大きな壁がある。そのため、今後も取組の推進を要望する。

## 施策①-7

特別な支援を要する子どもを持つ保護者にとって、一つでも多く相談できる場があることは心安らくことであり、心の大きな支えともなるので、さらなる推進を要望する。

## 施策②-1

参加した児童らの感想等を聞くと、多くの児童が「楽しく、次回も参加したい。」と述べていた。特別支援学級の担任の先生は運営が大変であるが、今後もこの取組の継続を要望する。

すくすく訪問支援事業については、園、心理士、保健師、指導主事等が連携をとりながら、子どもに寄り添った支援につなげられるよう、引き続き、実態把握やカンファレンスなどの充実に努めます。

特別な支援が必要な子どもは年々増加傾向にあります。一人ひとりの教育ニーズに対応するため、心理士等が関わり方や手立てを助言し、適切な支援に努めます。虐待・家庭の課題についても引き続き、学校園と連携を強化し、支援の充実に努めます。

関西国際大学 中尾教授の指導の下、全ての子どもに分かりやすい授業を目指し、こどもの実態把握や授業づくりの改善や工夫に取り組んでいます。引き続き、来年度も実施予定です。

教職員のニーズに応じた研修を実施し、参加者から校園内に研修内容が伝達・共有されるよう啓発することで教職員の専門性の向上を図ります。

今後も一貫した切れ目のない支援を目指し、組織的・継続的な引継ぎを行います。

24校園に対し48名の特別支援教育支援員を配置するとともに、専門性の向上のため研修会を開催しました。今後も子どもたちに寄り添った教育が充実するよう支援していきます。

引き続き、すくすく訪問支援事業の充実に図り、子ども、保護者、園に寄り添ったかかわりに努めます。

市健康増進課とより一層連携を強化し、適切な支援の充実に努めます。

今年度は交流活動の開催を中止したが、実施時期や内容・方法等検討しながら取組を進めていきます。



〔基本的方向における総括：教育委員会検証〕

一人一人の子どもたちが、特性や発達の段階に応じて能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加するために必要な力を育成するため、早期からの一貫した支援、教育相談、就学後の適切な教育に取り組んでいく。合わせて、教職員の専門性を向上をめざす特別支援教育研修を継続して行っていく。

## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針 2	子どもたちの学びを支える仕組みの確立
基本的方向 1	教職員の資質・能力の向上
	子どもたちの豊かな学びを実現するためには、子どもたちの多様な学びに対応するための教職員一人一人の資質・能力の向上、チーム学校として取り組む組織づくり、安全・安心な教育環境の整備を図ることが必要である。加えて、子どもたちが安心できる家庭教育に関する環境づくり、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりを支援し、学校・家庭・地域が連携・協働した教育を推進することが必要である。 このため、以下の基本的方向に沿って、教育施策の充実を図る。

### 〔指標の検証〕

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
■ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合	小 92.7% 中 86.1%	小 2019現状値以上 中 86.5%	小 93.1%(+0.4P)○ 中 87.7%(+1.2P)○
□ 授業中に学習に対する児童生徒の興味・関心を高めるために、コンピューターや提示装置を活用して資料などを効果的に提示できる教職員の割合	小 [2018]92.1% 中 [2018]90.4%	小 2019現状値以上 中 2019現状値以上	小 [2019]90.7%(-1.4P) 中 [2019]88.8%(-1.6P)

- ・・・ 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。
- ・・・ 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

### ※ 全国学力・学習状況調査【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

- ※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成・事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策① 教職員の資質と実践的指導力の向上	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 授業づくりと学級づくりの一体化の質的向上	〇〇〇	A	こども教育課
2 教員の指導力の向上を図る校内研修等の推進	〇〇〇	A	
3 校内研修担当者研修の充実	〇〇〇	A	
4 教職員の研修ニーズに対応する研修の充実	〇〇〇	S	
5 初任者等、若手教職員の研修の充実	〇〇〇	A	
6 豊岡市中学校教育研究会・教科部会の充実	〇〇〇	A	
7 児童生徒及び教職員のICT活用能力の向上	〇〇〇	A	
8 就学前の教育・保育計画「第2次スタンダード・カリキュラム」や「すくすくプログラム—5つの育てたいカー」を基本にした就学前教育の充実	〇〇〇	A	こども育成課
(施策における取組の総括:担当課検証) 新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な研修会が縮小や中止となる中、各校では「校内研修の充実」を図るため、講師を招聘するなど各校の子どもの実態に応じた特色ある研修が行われた。「5つの徹底継続実践事項」を基盤とし、授業づくりの充実に加え、ICT学びへの活用研修のさらなる充実を図っていく必要がある。			

施策② ワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方改革	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 「学校における働き方改革」の推進	〇〇〇	B	こども教育課
(施策における取組の総括:担当課検証) 今年度、新たに「学校における働き方改革」推進方針を改訂した。その方針に則り、来年度以降「学校における働き方改革」をさらに推進する。			

〔外部検証意見〕

施策①-1  
一人一台のICT機器が導入され活用することは必要だが、人と人との関係を大切にすることを根本に据えた指導を心掛けたい。

「授業で学級をつくる」という方針は、これまでの取組から全学校に行き渡り、校内授業研修を重ねる中で、多くの成果を残してきた。具体的には「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「授業における5つの『徹底・継続』実践事項」が定着した。  
今後は、どの学校も質の向上をめざし、校内授業研修を進める。

施策①-2  
各校の教育課題に応じ講師を招聘する研修は、教職員の意識を高め指導力の向上に生かされている。今後も継続をお願いしたい。

学校園等支援事業により各校へ補助金をいただき、外部講師招聘の校内授業研修ができています。今後もこの取組の継続を要望する。

施策①-3  
各校では、研修担当者を中心に授業改善に向けた校内研修を行っている。担当者研修で研修担当者が一堂に会し、情報を交流し合うことにより、自校の研修会の運営に役立てることができている。

施策①-4  
本年度は特別支援教育とプログラミング教育に関する研修会が予定されていた。今後も継続する教育課題等に対応する研修会の意義は、大きいと考える。来年度もそうした場を充実・発展させてほしい。

施策①-5  
学校の組織構成では若手教員の占める割合が高い状況であり、彼らの授業力向上を踏まえた校内授業研究が各校で活発に行われている。市教委主催の研修の場は、授業力向上のほか、若手教員同士のつながりができ、とてもよい交流の場となっている。

施策①-6  
この取組は小学校にはない取組であり、教員の授業力向上や教科指導の専門性を高めるよい研修の場であると考えます。

施策①-7  
GIGAスクール構想により一人一台の端末が導入され、生徒はもとより教職員の指導力向上のための校内研修の充実が必要である。

本年度はGIGAスクール構想に向けた情報教育研修会が数多く開催され、その研修会后、各校で伝達講習が行われ、教員のよい研修の場となった。

施策①-8  
「子どもの育ちや学びを連続的に捉え、小学校教育との確かな接続を図る」ための取組であるので、今後も継続推進を要望する。

〔教育委員会検証〕

1人1台タブレットが整備されるので、子どもの学びが充実するよう有効な活用をめざします。

授業でタブレットを使うとしても、先生と子どもがタブレットだけを見るのではなく、目を合わせ、どこが分かっているのか、どんな表情をしているのかを確認し、対面のよさを大事にしながら活用していきます。

コロナでリモートで講師から講義を受けたり、講師からDVDを送ってもらい、指導助言をいただいたりするなど、学校でさまざまな工夫をし、子どもの課題解消するために有効に特色ある研修を進めていただきました。今後も継続実施していきます。

今後も各校の行内研修の充実と授業改善の推進を図っていきます。

教職員のICT研修を本年度5回実施しました。来年度は授業でどう使うか、子どもに持ち帰らせたときどう使うかなどの実践面での交流を図ります。

学校のニーズを把握し、年3回程度の実践的な研修を今後も充実させたいと考えます。特別支援教育については、就学前施設との合同研修を実施しており、経験の浅い先生から多くの受講希望を受けています。特別支援の担任教諭、コーディネーター、支援員はそれぞれ専門が違うため、従来通り年1回専門性を磨く研修に取り組んでいきます。

今後も継続実施していきます。

来年度もICT学びへの活用研修を年間3回程度実施し、取組を推進していきます。

子どもの行動の事実から育ちや学びを読み取る研修は、参加者の学びとなりました。次年度も継続していきます。

施策②-1

教職員の意識改革が大きな課題である。各校で一人でも多くの者が意識して取り組むよう工夫することが大切である。ただ、各校の児童生徒・家庭・地域の実態等に差があるため、できることから目標を掲げ、取り組んでいくことが大切である。

この取組により、各学校では勤務時間の適正化を図るために校務支援システムを活用したり、分掌業務の効率化や会議運営の能率化を図ったりするなど推進を図っている。来年度も校務支援システムのさらなる充実を図っていただきたい。

過当たりの在校時間を60時間以内を目標とします。アンケートによれば、先生たちの意識は変化しています。今後、校務支援システムを十分活用していきます。

また、できるだけ教育委員会から地域の方や保護者に働き方改革に係る文書の発信を増やしていくよう検討しており、先生が本来の職務である教材研究や研修に打ち込める環境を作ります。

〔基本的方向における総括:教育委員会検証〕

子どもたちの豊かな学びを実現するために、教職員一人一人の資質・能力の向上、チーム学校として取り組む組織づくり、安全・安心な教育環境の整備を図ることが必要である。子どもたちの多様な学びを支えるため、日々の授業実践や研修を通して、教職員の専門性を磨き、「子どもに寄り添う教育」をさらに進めていく。こうした教育の充実を図るためにも、子どもと向き合う時間を大事にしなければならない。改訂した「学校における働き方改革」推進方針に基づき、教職員の意識改革と組織的取組を推進していく。

## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針 2	子どもたちの学びを支える仕組みの確立
基本的方向 2	学校園の組織力の強化
	<p>新しい時代に求められる資質・能力を育む教育課程の実現やいじめや不登校等に適切に対応するためには、教職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かしていく協働体制を確立することが重要である。</p> <p>このため、①教職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かす協働体制の確立、②いじめや不登校等への対応等に取り組む。</p>

### 〔指標の検証〕

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
<input checked="" type="checkbox"/> いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小 98.0% 中 95.2%	小 100% 中 100%	小 98.3%(-1.7P)○ 中 97.3%(-2.7P)○
<input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の割合	小[2018]0.48% 【2018全国出現率 0.70%】 中[2018]3.69% 【2018全国出現率 3.81%】	2019現状値以下	小[2019]0.40%(+0.08P)○ 【2019全国出現率 0.84%】 中[2019]3.77%(-0.08P) 【2019全国出現率 4.12%】

- …… 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。  
 …… 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

### ※ 全国学力・学習状況調査【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

- ※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策① 教職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かす協働体制の確立	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 管理職研修の充実	〇〇〇	A	こども教育課
2 学校教育経営研修の充実	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課検証) 豊岡市の教育の推進と充実のため、管理職及び中核的教員の資質向上は不可欠である。とりわけ「非認知能力向上に係る研修」は、豊岡市の教育の柱となるものであり、管理職を対象とした研修の充実を図っていく。			

施策② いじめや不登校等への対応	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 いじめの未然防止、早期発見・早期対応の充実	〇〇〇	A	こども教育課
2 小・中学校と関係機関との生徒指導に係る情報交換の推進	〇〇〇	A	
3 不登校対策の充実	〇〇〇	A	
4 相談支援事業の実施	〇〇〇	A	
5 「子どもの心を理解する強化月間」の充実	〇〇〇	A	
6 「アセス」を活用した生徒指導の充実	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課検証) 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、児童生徒にとって、今まで経験したことのない学校生活を送ることとなったため、児童生徒の心と体の状態をしっかりと把握しながら心のケアに努めてきた。今後も、全職員が一丸となり、相談しやすい学校環境づくりのさらなる推進に努めていく。 また、各校や小中一貫各ブロックにおける取組の分析・検証・見直しを継続して進め、取組内容への反映と充実に向けていく。さらに、各校生徒指導担当者、不登校担当者等の研修会等で、各校の実践交流と事例に対する対応策等の協議を充実させ、その成果と課題、提案等を各校に発信・啓発する取組の充実を図っていく。			

〔外部検証意見〕

〔教育委員会検証〕

施策①-2

学校教育経営研修はコロナの影響でレポート提出の方法になったが、この方法でもよいと感じた。研修を受ける者も指導する管理職もゆとりを持ちながら工夫して行うことができた。

施策②

「いじめアンケート」の実施により、子どもたちがサインを出しやすくなっていると思う。しかし、それでも悪口が書かれた紙切れが落ちていたり、机に悪口が書いてあったという事例を聞くので、これらの施策②が確実に実施されることを望む。

施策②-1

毎月実施の「いじめアンケート」は継続していくことが必要である。ただ、各学校では児童生徒が記入慣れし本当のことを書かなくなることを危惧するため、日々の子どもの間接的な関係を踏まえながら取組を実施することが大切になる。

施策②-6

「アセス」の分析結果を基にスクールカウンセラー(SC)の参加のもと、研修会を実施している。年2回の実施により、児童生徒の変容を確認するとともに、対応の仕方を共有する機会になっている。

中核的教員の育成や管理職としての資質向上のため、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら今後も継続実施していきます。

まずは教員と子どもの関係性づくりが大事です。各学校には子どもの声をしっかり聞くことを大切にする学級づくりを進めていただきたいと思います。

いじめアンケートを実施する理由として、発信できない子どもに発信しやすくするというねらいもあります。今後も継続実施していきます。

各校の取組状況を十分に把握し、今後も有効に活用されるよう働きかけていきます。

〔基本的方向における総括:教育委員会検証〕

いじめ、不登校など一人一人の子どもの理解や、非認知能力に働き掛ける指導など「子どもに寄り添う教育」の一層の充実が求められる。多様な子どもたちへの指導、多様な価値観を持つ保護者との連携など、今後も教職員の資質向上と専門性を磨く研修を継続していく。



## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針 2	子どもたちの学びを支える仕組みの確立
基本的方向 3	安全・安心な教育環境の整備・充実
	子どもたちが安心して学校園生活を送るためには、安全で質の高い教育環境の整備を図ることが重要である。 このため、①学校園及び給食センターの安全対策やICT環境等の教育環境の整備・充実、②様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する就学支援等に取り組む。

### 〔指標の検証〕

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 小学校屋内運動場・武道場非構造部材等落下防止対策の実施率	34.5% 【10校】	51.7% 【15校】	51.7%(±0P)○ 【15校】
<input type="checkbox"/> 学校給食において地場産物(市内産の野菜)を使用する割合	36.3%	2019現状値以上	27.7%(-8.6P)

■・・・ 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・ 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査 【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課)検証 (取組の継続等)	S	目標達成・取組完了（目標達成、事業計画完了による取組終了）	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○	妥当
	A	継続実施（拡充・現行方法による継続実施）		△	疑義あり
	B	改善実施（取組の改善・見直しによる継続実施）		—	評価不能
	C	抜本的見直し（取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要）			
	D	取組廃止（効果・必要性等から取組を廃止）			

〔施策と取組の自己検証〕

施策① 学校園及び給食センターの安全対策やICT環境等の教育環境の整備・充実	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 学校園施設等の定期的な安全点検及び整備	〇〇〇	A	教育総務課
2 非構造部材等落下防止対策の推進	〇〇〇	A	
3 ICT環境の整備	〇〇〇	B	
4 地産地消の推進と安全・安心な学校給食の提供	〇〇〇	A	
5 通学(園)路の安全点検及び関係機関・保護者・地域との連携強化	〇〇〇	A	こども教育課
6 通学(園)手段の確保	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課検証)

施設の不具合に対して、緊急度の高いものから順次、対処してきた。それ以外のは経過年数、劣化状況等を判断し、計画的な改修に努めてきた。ICT環境においては、児童生徒への端末の整備の進展を踏まえ、端末活用に必要な新たな環境整備が必要である。

通学に関して、安全な登下校や防犯・見守り体制を構築するため、地域や関係機関と実践を共にしながら、連携を強化していく。

施策② 様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する就学支援	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 就学援助費の支給	〇〇〇	A	こども教育課
2 特別支援教育就学奨励費の支給	〇〇〇	A	

(施策における取組の総括:担当課検証)

就学援助及び特別支援教育就学奨励費を受給している人数は昨年度に比べて増加している。就学援助については、新入学児童生徒学用品費を入学前に支給することで、保護者の経済的負担の軽減につながっていると考える。

今後も経済的に援助を必要とする児童生徒の保護者の負担を軽減するため、継続した就学支援が必要である。

〔外部検証意見〕

〔教育委員会検証〕

施策①-1

園児・児童・生徒数が減少する中、植栽も含め、施設・設備の老朽化も進んでいる。市の予算との関係により実施が困難なこともあると思うが、点検や修繕・改修が着実に実施され、園児・児童・生徒の安全で快適な保育・学習環境が実現するよう努力してほしい。

施策①-2

市の予算との関係により実施が困難なこともあると思うが、点検や修繕・改修が着実に実施され、園児・児童・生徒の安全で快適な保育・学習環境が実現するよう努力してほしい。

施策①-3

ICT環境の整備においては、物的環境の整備と共に、教職員のスキルアップや家庭との連携など活用のためのソフト面の整備が欠かせない。難しい課題ではあるが、この機会を活かすことで地域のICT環境の整備が進み、児童・生徒の能力向上につながることを期待する。

施策①-5

私は見守りボランティアを始めて3年になり、子どもたちと一緒に小学校までの約2.5kmを歩いている。歩道を新たに設置していただいたり、冬季期間にはバス通学させていただいたりし、配慮していただきありがたい。道路の整備については、教育委員会だけでは対応が難しいと考えるので、地元としても応援できる部分は応援したい思いである。

施策①-6

夏季休業日短縮に伴い、熱中症警戒レベルの気温の高い時間帯に下校する期間がしばらく続き、各学校ではそれぞれに児童・生徒の健康を守るための対応に追われた。就学前施設を含めた市としての対応をできるだけ早期に示されることを希望する。

施策②-1

支給時期を早めたり、支給日を増やしたりするなど、困難を抱える家庭への支援に工夫と努力がなされている。今後も新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化が懸念される中、教育委員会と学校が連携した細かな対策が期待される。

計画的な修繕等に努め、突発的に生じた不具合や危険木の伐採に対しては、緊急度の高いものから順次対処しています。

今後も、安全で快適な環境を実現するよう上記の方針で対応します。

日ごろから関係者や業者による定期点検の実施により、不具合等を早期に発見し安全で快適な環境の実現に努めます。

1人1台端末導入に伴い、家庭との連携のため、「G Suite for Education」を基幹ソフトとし活用します。

また、来年度も教職員の研修を実状に応じた内容で、計画的に実施していきます。

道路の整備は教育委員会だけではできませんが、警察や市道路部局と連携し、合同の通学点検を実施しています。今後も保護者や地域のボランティアとの連携を図りながら通学・通園環境を整えます。

教育委員会として、水に濡らすと涼くなるタオルを配布、日傘の購入、また2km以上ある小学校低学年の児童についてはバス通学にしたりするなどできる限り対応させていただきました。

今後も保護者の負担軽減のため継続実施していきます。

〔基本的方向における総括:教育委員会検証〕

本年度、非構造部材等落下防止対策では、計画的に整備を行うとともに、整備対象校の見直しを行った。2022年度までに整備対象すべての小学校の整備完了をめざす。ICT環境は、児童生徒1人1台端末を整備しているところであり、来年度以降、整備完了とともに活用に必要な環境整備を進めていく。

引き続き、子どもたちが安心して学校園生活を送るため、安全で質の高い教育環境の整備を図る。

## 第4次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画) 2020年度実践計画検証総括シート

基本方針 2	子どもたちの学びを支える仕組みの確立
基本的方向 4	家庭と地域による学校と連携した教育の推進
	<p>家庭は、すべての教育の出発点であり、家族の触れ合いの時間を確保し、基本的なしつけを通して、人間関係の基礎を形成し道徳性の芽生えを培うことや、食生活や睡眠を含めた規則正しい生活習慣を身に付けさせることが重要である。加えて、子どもたちが地域の中で、体験的な学びと交流によって豊かな成長がかなえられるよう、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりや学校からの積極的な情報発信を踏まえた学校園・家庭・地域との緊密な連携が重要である。</p> <p>このため、①家庭における子どもが伸びる習慣づくり、②親としての学びへの支援、③関係機関の連携による子育て支援、④地域全体で子どもを育てる環境づくり等に取り組む。</p>

### 〔指標の検証〕

指標名	2019現状値	2020目標値	2020指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 子育て講座の実施回数	29回	30回	20回(-10回) 〔2021.1.1現在〕
<input checked="" type="checkbox"/> 今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小 92.9% 中 77.1%	小 2019現状値以上 中 2019現状値以上	小 90.1%(-2.8P) 中 73.0%(-4.1P)
<input type="checkbox"/> PTCAあいさつ強化月間の取組参加者数	5月 11,172人	2019現状値以上	5月 3,413人(-7,759人)
<input type="checkbox"/> 保育園・認定こども園待機児童数	14人 〔2019.9.1現在〕	0人	8人(-8人)○ 〔2020.10.1現在〕
<input type="checkbox"/> 放課後児童クラブ待機児童数	3人 〔2019.9.1現在〕	0人	0人(±0人)○ 〔2021.1.1現在〕
<input type="checkbox"/> 夏休みラジオ体操顔見知り運動に5回以上参加した中学生の割合	89.7%	95%	-( - )-

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査 【2020年度中止】

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学、理科の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2020指標の実現状況のうち、( )内は対2020目標差を、○印は2019現状値よりも改善した指標を表す。

教育委員会 (担当課) 検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価 の妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ① 家庭における子どもが伸びる習慣づくり	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 「すくすくメッセージ」や紙芝居「めらとにんじやのしゅぎょう」を活用した乳幼児期の生活リズムの定着	〇〇〇	A	こども育成課
2 「運動遊びパンフレット」等による家庭や地域での運動遊び・外遊びの促進	〇〇〇	A	
3 家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立	〇〇〇	A	こども教育課
4 ブックスタートの推進	〇〇〇	A	生涯学習課
(施策における取組の総括:担当課検証) 「すくすくメッセージ」等を活用し、乳幼児期の生活リズムの定着を図っており、継続して取り組む。 また、家庭における基本的な生活習慣の確立と、非認知能力の向上を図るため、はばたきメッセージを配布し、啓発を図る。			

施策 ② 親としての学びへの支援	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 PTA活動の充実	〇〇〇	B	こども教育課
2 子育て家庭を対象とした子育て講座の実施	〇〇〇	A	こども育成課
3 親子が交流できる機会の支援	〇〇〇	B	
(施策における取組の総括:担当課検証) 豊岡市PTA連合会において保護者が自ら学び、情報を共有するための機会を今後も継続して支援する。また、事業の見直し等を行うなど、さらなるPTA活動の充実を図っていく。			

施策 ③ 関係機関の連携による子育て支援	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 子育てに関する相談の充実	〇〇〇	A	こども育成課
2 学校園と家庭児童相談室・こども家庭センターなどの関係機関との連携	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課検証) 市こども支援センターが調整機関となり、学校園、市健康増進課等の関係機関と情報共有し、特にリスクが高く、支援が必要な家庭について連携を図りながら、役割分担し、適切な助言・指導を行っている。 家庭環境の多様化に伴うさまざまな子どもに関する相談に適切に対応するため、相談対応職員のアセスメント能力の向上を図るとともに、児童虐待など子どもの安全確保を図る必要がある場合は、県こども家庭センター、警察署、病院と迅速に情報共有し対応する。			

施策 ④ 地域全体で子どもを育てる環境づくり	検証		所管課
	検証委員会	教育委員会	
1 安全ボランティアによる見守り活動の継続及び活動支援	〇〇△	A	こども教育課
2 学校・家庭・地域の連携強化	〇〇〇	A	
3 「地域とともにある学校」づくりの推進	〇〇〇	B	こども育成課
4 仕事と子育ての両立支援	〇〇〇	A	
5 子どもと心でつながる市民運動の推進	〇〇〇	A	生涯学習課
6 図書ボランティア活動の促進	〇〇〇	A	
(施策における取組の総括:担当課検証) 安全ボランティアの高齢化など見守り活動の課題が顕著になりつつある。地域の実態に応じて、「子どもを見守り、育てる環境づくり」を支援していかなければならない。コミュニティスクール(学校運営協議会)モデル校での取組等を参考にしながら、地域と協働し課題解決を図っていく。			

〔外部検証意見〕

〔教育委員会検証〕

基本的方向全般

コロナ禍で計画通り実施できなかったものを除き、「効果が期待できる」「効果があった」との担当課の自己評価であり、引き続き、取組に期待する。田舎ならではの地域とのつながりが良い方向に向かうよう願っている。

施策①-3

この取組について、第3次とよおか教育プランで基本方針1の「あたまの力」の育成の施策にあがっていたが、第4次とよおか教育プランでは、施策①の「家庭における子どもが伸びる習慣づくり」にあがっており、他との関連があり、よいと思う。

施策①-4

子育てセンターで絵本の読み聞かせをして、とても子どもの反応がよい絵本が、ブックスタートで家庭にプレゼントされた絵本ということがある。そのような子どもの様子を保護者が実際に見ると、身近に絵本がある大切さを理解してもらえると感じる。子育てセンターの活動で「子どものお気に入りの一冊」を紹介するとき、ブックスタートでプレゼントされた絵本を持参される方が毎年何人かおられる。

ぜひ、今後も継続を希望する。

施策②-2

子育てセンターでも子育て講座を実施している。保護者が集中して話を聞くために保育は必要だが、ボランティアの確保がなかなか難しい。不安を話す(放す)ことで、安心して楽しく子育てができるよう、今後も継続していく必要があると考える。

家庭と地域との連携を深めながら、豊かな成長がかなえられるような教育の推進に取り組んでいきます。

他の方針と関連づけながら、取組を実施していきます。

絵本に興味を持つきっかけを作り、その後の読書活動推進につなげるため、引き続き取組を実施していきます。

多くの保護者が参加できるよう、引き続き取組を実施していきます。

〔基本的方向における総括:教育委員会検証〕

学校・家庭・地域が、それぞれの役割や強みを自覚し、教育力を発揮するために緊密な連携は欠かせない。「あいさつ運動」「見守り活動」「地域での学びと交流」などの活動を通して、連携強化を図っていく。

合わせて、学校、家庭、地域全体で、子どもを支える活動(地域学校協働活動)をさらに推進するため、PTAや学校評議員会、学校運営協議会(コミュニティスクール)等の組織を活用し、課題の共有化を図る。

## IV 外部有識者の総評

## 1 2020年度教育委員会活動について

### (1) 総括意見

教育委員会の点検・評価は効果的な教育行政を推進するため、また市民に対する説明責任を果たすために行われるものである。このため、この点検・評価にもとづいて今後の教育行政施策の改善や見直し、教育環境の整備や充実に努めることが求められる。

まず2020年度の教育委員会活動について、教育委員会会議の定例会が12回、臨時회가3回の計15回開催され、53件の議案が審議された。審議案件、報告案件の一覧を概観するに、とくに問題は見受けられない、と考える。

教育委員会会議以外の活動状況について、市長と教育委員会とで構成する総合教育会議が計2回開催されている。また、教育施策の内容について市民から理解を得ること、および市民の声を教育行政に反映するための教育懇談会をしている。2020年度は2019年度の市民、とりわけ保護者から寄せられた意見をもとに豊岡市小中学校適正規模・適正配置審議会を立ち上げており、その審議会の中間案について、9月から10月にかけて保護者向け懇談会を6回（参加者計240名）、地域向け懇談会を6回（参加者計239名）開催して意見交換を行っている。

豊岡市では2020年2月に「第4次とよおか教育プラン」を策定し、それにもとづいた「2020年度実践計画」を同年3月に策定している。今後は「第4次とよおか教育プラン」にもとづく教育施策を年度ごとの実践計画において、着実に進めると同時に、年度ごとの点検・評価結果にもとづく成果検証によって、柔軟かつ適切な改善を繰り返すことによって、より効果的な教育施策を推進することが求められる。

### (2) 豊岡市の教育に求められるもの

地域とともにある学校とするための「コミュニティスクール」が、モデル校である2校で開始された。今次改訂の学習指導要領で謳われる「社会に開かれた教育課程」の実現に「コミュニティスクール」は大きく資する取り組みである。豊岡らしい地域とともにある学校づくりのためにも、これらモデル校の成果検証を進め、他校での取り組みの参考となるように、教育委員会による継続的な支援が望まれる。

豊岡市は県下においても、早期から小中一貫教育に取り組んできた。小中一貫教育は小中学校教育それぞれの強みを相乗効果として高めるもので、義務教育の質向上に益する取り組みである。したがって、小中一貫教育についても、豊岡市にとっての最適な方策を導出すべく、成果検証を進めて欲しい。



## 2 2020年度教育施策の取組について

### (1) 成果があった取組について

「あたまの力」の育成について、2020 指標の実現状況に鑑みれば、全体的には良好な状態にあると言えるだろう。とくに「国語、算数、数学の勉強が好きだと思っている児童生徒の割合」については、目標値には及ばなかったものの、前年度と比較して改善傾向にある。「勉強が好き」というのは学びの源泉である。児童生徒がもっと学びたい、と思えるような授業づくりにこれからも取り組んで欲しい。

「こころの力」の育成に関しては、2020 指標の実現状況において、とりわけ「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある児童生徒の割合」が、前年度と比較して良好な状況にある。対話を重ねて他者と協働することは、よりよい学級・学校生活の基盤であり、また「主体的・対話的で深い学び」の実現にも通底するものである。今後も継続されることに期待する。

「からだの力」の育成は、「外部検証意見」において、「コロナ禍でできることを取り組んでいただきたい。(中略)引き続き、取り組みに期待する」とある。コロナ禍において様々な制限がある中で、「できない理由」を探すのではなく「できる方法」を希求した結果であると言える。教育行政の姿勢として今後とも「可能性」を追求できる組織であることが望まれる。

教職員の資質向上について、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合」が目標値を超えて達成していた。彼らにとって保護者の次に身近な大人である教員に良いところを認められることは、彼らの自信の形成につながると考えられる。今後も継続して、児童生徒の良いところを評価して欲しい。

### (2) 改善や見直しが必要な取組について

教職員の資質・能力の向上の施策②-1『「学校における働き方改革」の推進』について、教育委員会による自己評価が「B」となっている。統合型校務支援システムの導入について外部検証委員からも「来年度も校務支援システムのさらなる充実を図っていただきたい」ともある。教職員の働き方を児童生徒に関わる事項に重点をおけるよう、このシステムの利便性の向上をはじめとした充実策を検討し、教職員の働き方改革の推進に努められることを望む。

安全・安心な教育環境の整備・充実の施策①-3「ICT環境の整備」について、「with コロナ」「post コロナ」においてオンラインによる教育は、今後ますます重きをなすことになる。これは対面の方が良い、オンラインの方が良いという二項対立的なものではなく、お互いの長所を補完し合っただけで、教育の質を高めることにつながるものである。このため、今後も継続して学校における機器等の整備、それを活用する教員のスキルの向上など、一層のICT環境の整備が求められる。

### (3) 今後の教育施策の取組について

2020年度は「コロナ禍」への対応の1年であり、例年の教育活動の継続を困難にした1年でもあった。このため今年度の点検・評価については、例年とは異なる解釈をする必要があるだろう。とりわけ数値による評価は、単純に例年との比較を難しくしている。それを踏まえた上で、今後は上段でも触れたように、時々状況の中で「可能性」を追求しながら、豊岡市の教育が大切にしてきたこと、これから大切にすることの質を高めるべく、施策を展開することが望まれる。



2021年度

**教育委員会の点検・評価報告書**

(2020年度事業分)

発行 2021年6月

編集 豊岡市教育委員会 教育総務課

〒668-8666

兵庫県豊岡市中央町2番4号

豊岡市役所本庁舎6階

TEL 0796-23-1117

FAX 0796-24-4669